

2020年3月期 第2四半期決算の概要について

2019年10月31日

住友精密工業株式会社

I. 2020年3月期 第2四半期決算 及び 通期予想

- セグメント業績①

[対前年度比較]

<航空宇宙>

上期：当年度は官需品主体に販売増加。カナダ改編に伴う改善効果もあり、増収増益。

通期：上期と同様の理由により増収増益。

<熱交換器・環境>

上期：熱交換器の需要が回復傾向にあり、増収増益。

通期：熱交換器の需要回復に伴い増収を見込む。損益面では、増収効果により好転するも、営業・開発強化に伴う一部費用増加もあり、改善幅は限定的。

<ICT>

上期：例年は販売が下期偏重傾向となるも、当年度は、装置品の上期販売案件が多く、増収増益。

通期：販売は微増。損益面は、販売構成の変化による採算性の低下および開発費等の増加により後退。

<対米ドル為替(期中平均)> <109>

<111>

<109>

<105>

<107>

(億円)

<105>

	2019年3月期			2020年3月期			対前年度差異			年初 通期 予想
	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 実績	下期 予想	通期 予想	上期	下期	通期	
売上高	207	283	490	249	286	535	42	3	45	535
航空宇宙関連	132	172	304	148	182	330	16	10	26	330
熱交換器・環境	37	53	90	45	60	105	8	7	15	110
ICT	38	58	96	56	44	100	18	-14	4	95
営業利益	6.6	19.2	25.8	22.9	9.1	32.0	16.3	-10.1	6.2	24.0
			5.3%			6.0%			0.7%	4.5%
航空宇宙関連	3.6	6.9	10.5	13.8	5.2	19.0	10.2	-1.7	8.5	14.5
			3.5%			5.8%			2.3%	4.4%
熱交換器・環境	-1.8	4.7	2.9	3.3	1.7	5.0	5.1	-3.0	2.1	2.5
			3.2%			4.8%			1.5%	2.3%
ICT	4.8	7.6	12.4	5.7	2.3	8.0	0.9	-5.3	-4.4	7.0
			12.9%			8.0%			-4.9%	7.4%

I. 2020年3月期 第2四半期決算 及び 通期予想 - セグメント業績②

[対当初計画比較]

＜航空宇宙＞

上期：販売面は、官需品の下期ずれ込みにより減少。損益面では、補用品販売の下期からの繰り上がり、経費の削減に加え、一部開発費の下期および翌期へのずれ込みにより好転。

通期：販売は当初計画通り。損益面は、経費の削減及び一部開発費の翌期へのずれ込みにより好転。

＜熱交換器・環境＞

上期：販売面では、熱交換器の需要が回復傾向にあるもLNG気化器および鉄道車両向け等の量産品において受注目標に届かず減少。損益面では、販売減少となるも、コスト削減および経費削減により改善。

通期：上期と同様の理由により、販売減となる一方、損益は改善。

＜ICT＞

上期：装置品等の下期ずれ込みにより減収減益。

通期：装置品等の販売増加に伴い増収増益。

<対米ドル為替(期中平均)> <105> <105> <109> <105> <107> (億円)

	当初計画			上期実績及び予想			対当初計画差異		
	上期 当初	下期 当初	通期	上期 実績	下期 予想	通期 予想	上期	下期	通期
売上高	275	260	535	249	286	535	-26	26	0
航空宇宙関連	160	170	330	148	182	330	-12	12	0
熱交換器・環境	50	60	110	45	60	105	-5	0	-5
ICT	65	30	95	56	44	100	-9	14	5
営業利益	11.5	12.5	24.0	22.9	9.1	32.0	11.4	-3.4	8.0
			4.5%			6.0%			1.5%
航空宇宙関連	3.0	11.5	14.5	13.8	5.2	19.0	10.8	-6.3	4.5
			4.4%			5.8%			1.4%
熱交換器・環境	0.5	2.0	2.5	3.3	1.7	5.0	2.8	-0.3	2.5
			2.3%			4.8%			2.5%
ICT	8.0	-1.0	7.0	5.7	2.3	8.0	-2.3	3.3	1.0
			7.4%			8.0%			0.6%

I. 2020年3月期 第2四半期決算 及び 通期予想

- 概況

営業外損益： 対米ドル為替レートは、前年度末の111円から当年度上期末は108円と円高進行により為替差損が発生。下期の対米ドル想定レートは、当初計画通り 105円。

当初計画に対しては、総じて為替円高影響を織込み。

配当： 2019年3月期に計上した『防衛装備品関連損失引当金』が、今後の調査によって変動する可能性があることから、中間配当を見送ることとしました。

なお、期末配当は引き続き未定としております。安定的かつ継続的な株主への配当を基本方針としつつ、業績動向等を総合的に勘案した上で改めてお知らせします。

(億円)

(参考)

<対米ドル為替(期末)> <106> <111> <108> <105>

<105> <105>

	2018年 3月期 実績	2019年 3月期 実績	2020年3月期			20/3-19/3 通期 増減
			上期 実績	下期 予想	通期 予想	
売上高	472	490	249	286	535	45
営業利益	20.3	25.8	22.9	9.1	32.0	6.2
(営業利益率)	4.3%	5.3%	9.2%		6.0%	0.7%
営業外収益	6.7	5.7	2.5	2.5	5.0	-0.7
営業外費用	-6.5	-4.6	-4.4	-2.6	-7.0	-2.4
経常利益	20.5	26.9	21.0	9.0	30.0	3.1
(経常利益率)	4.3%	5.5%	8.4%		5.6%	0.1%
特別損益	-6.1	-55.7	-	-	-	55.7
税引前当期利益	14.4	-28.8	21.0	9.0	30.0	58.8
当期純利益	5.0	-22.5	13.5	7.5	21.0	43.5
EPS(円/株)	95	-426	256	141	397	-
ROE	1.5%	-	4.5%	-	6.8%	-
配当(円/通期) (注)	50	25	0	(未定)	-	-

2020年3月期当初計画			対当初 計画 増減
上期 当初	下期 当初	通期	
275	260	535	-
11.5	12.5	24.0	8.0
4.2%		4.5%	1.5%
3.0	2.5	5.5	-0.5
-4.0	-1.5	-5.5	-1.5
10.5	13.5	24.0	6.0
3.8%		4.5%	1.1%
-	-	-	-
10.5	13.5	24.0	6.0
7.5	9.5	17.0	4.0
142	179	321	76
2.5%	-	5.6%	1.2%
(未定)	(未定)	(未定)	-

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、2018年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、配当を記載しております。

Ⅱ. 財務体質の改善強化

- 財務指標の推移と目標

- ・ 総資産は、受注対応に伴い、棚卸資産を主体に当初計画に対して20億円の増加
- ・ これにより、当年度のフリーキャッシュフローは当初計画+5億円から一転し、△8億円の見通し
- ・ 有利子負債は圧縮を進め、当上期末のD/Eレシオは 0.81 まで改善

(億円) <参考>

	2015年 3月末 実績	2016年 3月末 実績	2017年 3月末 実績	2018年 3月末 実績	2019年 3月末 実績	2019年 9月末 実績	2020年 3月末 予想	2020年 3月末 当初計画
総資産	819	830	778	801	813	793	760	740
有利子負債合計	296	317	304	288	257	254	240	240
自己資本(純資産)	354	336	323	336	302	312	319	315
D/E レシオ	0.84	0.94	0.94	0.86	0.85	0.81	0.75	0.76
自己資本比率	42.4%	39.6%	40.5%	40.6%	35.7%	37.9%	40.4%	40.9%
ROE	4.3%	-	-	1.5%	-	4.5%	6.8%	5.6%
FCF	-18	-39	27	44	29	7	-8	5

(注) 本資料の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想に内在する不確定要因により、実際の数値は当該予想とは異なる場合があります。

以上